

予算編成

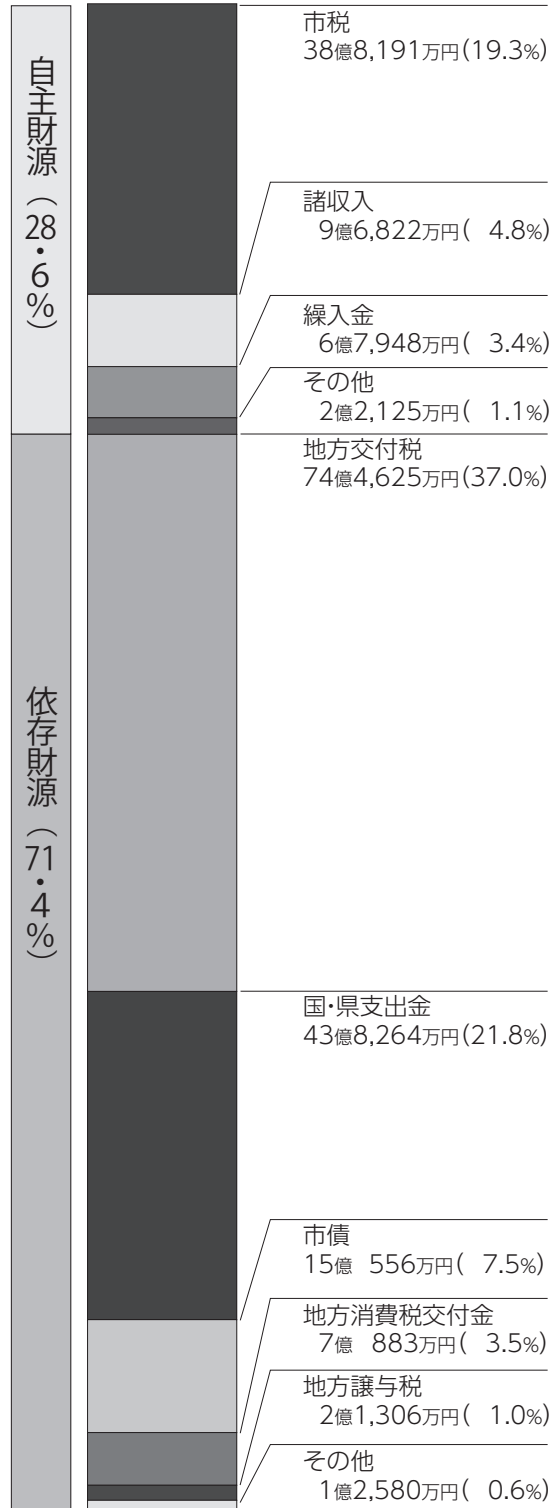
子育て支援・

地域活性化対策を重視

当市の財政状況は、歳入については、国庫補助負担金の削減や普通交付税の見直しにより減少傾向。歳出においては、扶助費が高い水準で推移していく見込みで、公共施設の老朽化対策などもあり、より一層厳しい財政運営が続くものと見込まれます。

平成31年度の一般会計当初予算は201億3300万円。平成30年度と比較して4億4300万円、2.2%の減額となりました。その概要をお知らせします。※金額は1万円未満を四捨五入しています

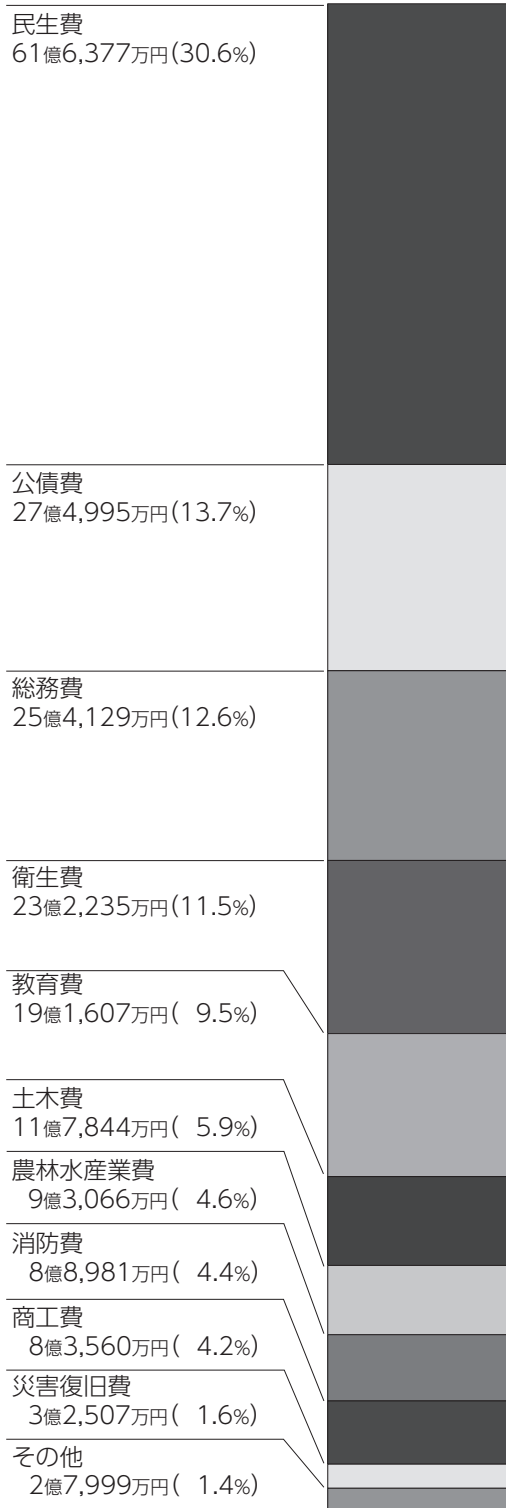
歳入 201億3300万円



平成31年度予算は総合計画基本構想に基づく事業、復旧・復興事業を優先。台風10号の復旧復興に関する予算は1億8420万円、東日本大震災に係る予算(復興計画掲載事業)は17億1183万円と全体予算の9.4%を占めています。復旧・復興に関する予算を除いた通常経費予算は182億3697万円。昨年度から約3億3361万円減少しています。

限られた財源の中、子育てに関する相談体制の充実や子どもを預かる施設の環境整備などの子育て支援事業、広域道の駅整備推進事業や若者の雇用促進などの

歳出 201億3300万円



地域活性化対策事業に重点的に配分しました。

一般会計の歳入を財源別に見ると、市税などの自主財源が57億5086万円。昨年度から2億7025万円増額しています。対して国から配分される地方交付税や国県支出金などの依存財源は143億8214万円。昨年度から7億1325万円の減。依存財源が歳入に占める割合は71.4%と昨年度から2.0ポイント減少しています。

歳出を性質別にみると...

項目	金額	割合	性質
人件費	31億2,339万円	15.5%	義務的経費 48.7%
扶助費	39億2,408万円	19.5%	
公債費	27億5,001万円	13.7%	
普通建設事業費	15億3,495万円	7.6%	投資的経費 9.2%
災害復旧事業費	3億2,507万円	1.6%	
物件費	29億9,228万円	14.9%	その他 42.1%
補助費等	39億12万円	19.4%	
繰出金	10億362万円	5.0%	
その他	5億7,948万円	2.8%	

特別会計

特別会計は、特定の事業を一般会計と区分したり、特定の歳入と歳出を区別して処理する会計です。

■国民健康保険事業勘定	37億6,323万円
■国民健康保険直営診療施設勘定	1億8,153万円
■後期高齢者医療	3億2,477万円
■魚市場事業	1,724万円
合計	42億8,677万円

企業会計

公営企業会計は、事業で得られる収入で経費を賄う独立採算制を原則とした会計です。久慈市では、水道事業会計と下水道事業会計がこれにあたります。

水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収支	8億4,536万円	10億7,838万円
資本的収支	7億7,967万円	14億682万円

下水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収支	9億4,570万円	10億7,126万円
資本的収支	9億4,858万円	10億6,035万円

財服用語の説明

【歳入の関係】

- ▶地方交付税...人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するため国から配分されるお金です。国が徴収する所得税や法人税、消費税などがもとになっています
- ▶国庫支出金、県支出金...建設事業や社会保障などの費用として、国・県から交付されるお金
- ▶市債...建設事業などを行うために、国や金融機関などから借りるお金

【歳出の関係】

- ▶民生費...福祉や子育てを支援するためのお金
- ▶公債費...市の借金返済などに使うお金
- ▶総務費...市役所の庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などに使うお金
- ▶衛生費...環境の保全や、健康を増進するためのお金
- ▶教育費...学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツなどを推進するためのお金
- ▶土木費...道路や公園などの整備・補修に使うお金
- ▶農林水産業費...農林水産業を振興するためのお金
- ▶消防費...消防や災害対策のためのお金
- ▶商工費...商工業や観光を推進するためのお金
- ▶災害復旧費...被災した施設を復旧するためのお金
- ▶義務的経費...人件費など支出することが義務づけられていて、簡単に削減できないお金
- ▶投資的経費...道路や学校などを整備するためのお金